

経済連畜産だより

第 21 回畜産共進会は 10 月 9、10、11 日

今年度第 21 回岡山県畜産共進会は、高梁市経済連高梁事業所（旧畜連高梁支所）において 10 月 9 日から 11 日までの 3 日間、華々しく開かれます。

今年から、主催が県経済連と県酪連に移り、民間団体によるキメの細かい畜産共進会が期待されています。

とくに、今年度で変っていることは、肉用牛では第 1 回全国和牛産肉能力共進会の出品畜の選考を、乳用牛では第 1 回全国ホルスタイン共進会の出品畜の選考を兼ねているためにどちらも若令牛区を設けてあることです。

乳用種々牛出品点数割当表
(酪連計画)

区分 会員別	ホルスタイン	ジャージー
	旭東 4	
一宮 1		
経済連 和気 1		
“ 赤磐 1		
“ 総社 1		
“ 高梁 4		
倉敷 1		
水島 1		
浅口 1		
山陽 3		
芳井 1		
新山 1		
美星 1		
北部 7	9	
美作 2		
御津中 1		
児島 } 1		
岡山 }		
新見 1		
熊掛		
矢掛		
成羽		
合計	40	

肉用種々牛、種豚出品点数割当表

区分 地区	肉用種々牛					種豚		
	第 1 区	第 2 区		合計	合計	ヨーク	ランド	合計
		♂	♀					
瀬戸事業所		3	3	3	2	2	4	
倉敷 “	2	10	12	12	1	1	2	
笠岡支所	2	4	6	6	1	1	2	
高梁事業所	3	1	10	11	2	2	4	
勝山支所	4	4	6	10	1	1	2	
津山事業所	4	2	9	11	2	2	4	
美作支所		2	2	2	1	1	2	
新見 “	4	4	6	10				
合計	15	15	50	65	10	10	20	

鶏卵・鶏肉を食べよう ー岡山県鶏卵肉消費促進運動ー

期間 40 年 7 月 26 日～ 7 月 31 日

41 年 3 月 22 日～ 3 月 26 日

最近における鶏卵及び鶏肉価格の低迷は長期化して、養鶏経営は危機に瀕している。

この為、県及び養鶏協会（本会も加入）は、関係団体の協力によって、「鶏卵肉消費促進事業」を実施することになった。

特に地方都市及び農村の鶏卵肉の潜在需要を喚起して、消費の拡大を図り、養鶏経営の振興と併せて、県民の栄養改善に寄与するものである。

この為、既に、県内の主要住宅団地において、料理講習と共に、鶏卵の廉価即売を実施好評を博した。

また、今後は次のことを予定し、積極的な促進運動を行なう。

岡山畜産便り 1965.07

1、農村向け料理講習会（8月）

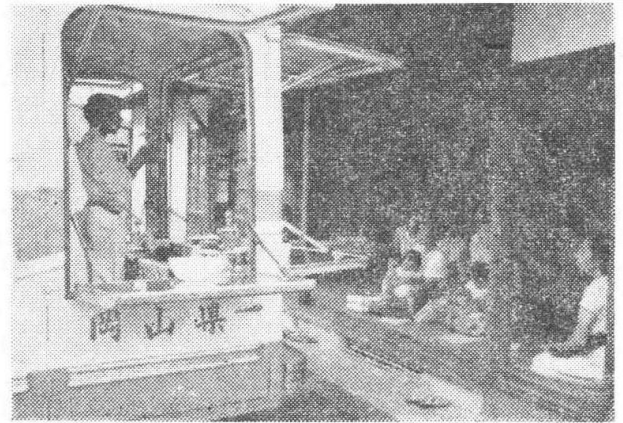
（1）農村の鶏卵肉消費需要を喚起するため、県下38ヶ所の農業改良普及所の生活改善普及員（56名）を対象に、鶏卵肉生産消費の動向鶏卵肉の生活へのとり入れ方、料理法等につき研修会を開催する。

（2）農業改良普及所単位に生活改善普及員が講師となつて、各地区代表者30名を対象に鶏卵肉が日常食にとり入れられるように指導すると共に調理講習を行なう。これらの受講者はリーダーとして地域の家庭婦人に対し伝達講習を行なう。

2、普及実績発表会の開催（41年2～3月）

料理講習会終了後一定期間の後、岡山市において実績発表会を行なう。

- （1）主婦の生活へのとり入れ方についての体験を発表する。
- （2）参加者代表による鶏卵肉の料理コンクールを実施する。
- （3）記念講演（講師、香川綾氏予定）



料理講習会風景